

江別の特性や優位性を活かし 諸課題に対応

江別市長 **三好 昇**



新年あけましておめでとうございます。市民の皆さまには、日頃から市政各般に深いご理解と温かいご支援、ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

昨年は、9月に発生した台風21号による暴風被害、胆振東部地震災害、その後の大規模停電や一部断水など、かつてない自然災害の脅威を経験し、防災訓練など普段からの備えの重要性と必要性を改めて認識させられた年でした。

明るいニュースでは、8月のアジア競技大会において、陸上男子十種競技に出場した江別市出身の右代啓祐選手が、見事2連覇を達成し、最後の最後まで決して諦めない姿に、たくさんの勇気をいただきました。

さて、今年は、少子高齢化・人口減少への対応が最大の課題と捉えて策定した、第6次総合計画「えべつ未来づくりビジョン」前半5年間の「えべつ未来戦略」を折り返し、後半がスタートします。子育て世代を中心に、転入が転出を上回る社会増が続くなど、これまでの各施策の効果を次のステージにつないでまいります。

また、今年はラグビーワールドカップが日本で初めて開催されます。当市はオーストラリアチームの公認キャンプ地に選ばれており、トップアスリートとの交流を契機に、続く東京オリンピック・パラリンピックに出場するチームの合宿誘致も進めてまいります。

さらには「健康都市宣言」の下に進めたE・リズムや野菜摂取の取り組みなど、今後もさまざまな機会を通じて、健康意識の向上と健康づくりの施策を推進します。そのほか、野幌駅前に年内完成予定の宿泊施設と市民交流施設が、新たな人の流れを創出し、まちの活気につながる事が期待されます。

皆さまとの「協働のまちづくり」を進めるため、市の持つ特性や優位性を活かしながら、市立病院の経営など諸課題に対応してまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

新たな年が市民の皆さまにとつて希望に満ちた一年となりますよう、心からご祈念申し上げます。

新年のあいさつ



「功績をたたえて」平成30年度 市政功労者・功績者、貢献賞

市は、長年にわたり江別市の振興と発展に尽くされた方や、経済、社会、文化などの発展に寄与された方の功績をたたえ、表彰を行っています。今年は市政功労者1名、市政功績者1名、貢献賞5名を表彰しました。

〔詳細〕総務部総務課 ☎ 381・1005

市政功労者
森好 勇さん（70歳）



昭和54年から2期、平成3年から6期、計8期32年にわたり江別市議会議員を務められ、駅周辺再開発調査特別委員会副委員長や経済建設常任委員会副委員長を歴任されるなど、幅広い分野において市の発展に尽力されました。

市政功績者
片山 浄教さん（78歳）



昭和55年から平成29年まで保護司を務められ、江別地区保護司会では副会長、会長を歴任されるなど、市の民生福祉の向上に大きく貢献されました。また、各種審議会委員を歴任されるなど、幅広い分野において市の発展に尽力されました。

社会貢献賞
湯浅 國勝さん（77歳）



平成14年から平成29年まで江別市国民健康保険運営協議会会長職務代理者、会長を歴任され、市の安定した国民健康保険事業の運営に尽力されました。また、江別市社会福祉協議会会長を務められるなど、幅広い分野で市の発展に大きく貢献されました。

謹賀新年

災害の教訓を踏まえ 安心して暮らせるまちづくりを

江別市議会議員 高間 専逸

新年あけましておめでとうございます。市民の皆さまには、健やかに希望に満ちた新春をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。

江別市では昨年に引き続き、地域経済の活性化、人口減少・少子化対策、子育て支援、教育環境の充実、住宅取得支援など多くの政策が進められており、子育て世代の転入が増えています。また「商業施設E B R I（エブリ）」、「ゆめちからテラス」のほか、昨年11月にオープンした「江別 蔦屋書店」は四季のみにちに隣接しており、江別の豊かな自然環境をPRするとともに、観光誘客を見込めること

で、人の大きな流れをつくりつつあり、さらなる交流人口の増加につながるものと期待しております。

一方、市議会では、昨年は第6次江別市総合計画の中間見直し年にあたり、総合計画特別委員会を設置し、計画の変更箇所の調査と提言を行うことで、多くの課題解決に向けて行政とともに取り組んでまいりました。

また、台風や地震による大規模災害に次々と見舞われ、さまざまな課題が浮き彫りになりました。この教訓を踏まえ、行政や市民の皆さまとの協働・連携を図りながら、安心して暮らせるまちづくりになお一層取り組んでまいります。

そのほかにも、市民の皆さまに議会の活動をより知っていただけるよう、広報広聴の充実を図ってまいります。そのために、皆さまのご意見をお伺いする場として「市民と議会の集い」を継続して開催するほか、新たな取り組みとして議会のICT化推進など、引き続き議会改革を進めているところでもあります。開かれた議会を目指す江別市議会へ、ぜひ一度足をお運びいただければと思います。結びに、今年は平成から新たな元号に変わりますが、市民の皆さまにとって、幸多い年となりますことをお祈り申し上げます。



産業貢献賞
徳永 俊司 さん (70歳)

平成7年に江別市農業協同組合の理事に選任され、平成13年からは道央農業協同組合理事、専務理事、代表理事副組合長を歴任されるなど、地域農業の発展に大きく貢献されました。



文化貢献賞
長谷川 清明 さん (71歳)

平成17年に江別市教育委員会委員に就任され、平成20年からは7年にわたり、教育委員長としてその識見と豊富な経験をもって、市の教育行政の推進に大きく貢献されました。



産業貢献賞
金田 敏雄 さん (75歳)

平成15年から平成29年まで江別工業団地協同組合副理事長、理事長を歴任されたほか、江別商工会議所副会頭、江別市経済審議会委員を務められるなど、市の産業経済の発展に大きく貢献されました。



社会貢献賞
忠鉢 方子 さん (77歳)

平成8年から平成30年まで保護司を務められ、社会復帰と自立を促す援護活動や犯罪予防活動に尽力されました。その間、江別地区保護司会分区長（大麻）、理事などを歴任され、市の民生福祉の向上に大きく貢献されました。